まちの軌跡

南あわじ市が誕生して様々な出来事がありました。まちの歩みはこれからも続きます。

平成17年
- 1月 旧緑町・西淡町・三原町・南淡町が合併し、「南あわじ市」が誕生

平成18年
- 9月 のじぎく兵庫国体開催市内で相撲、ビーチバレーを実施

平成19年
- 2月 淡路ふれあい公園内に「広域防災拠点」が完成
- 7月 「子育て応援シンボルキャラクター『ゆめまる』」誕生



平成20年
- 4月 ケーブルテレビが市内全域で本放送開始
- 5月 コミュニティバス「らんらんバス」運行開始

平成21年
- 1月 市内小学校の耐震化100%を達成

平成22年
- 1月 市民憲章、市の花、市の木、市民音頭を制定

平成23年
- 3月 友好県州30周年を記念して豪・西オーストラリア州が兵庫県にコアラ4頭を寄贈
- 淡路ファームパークイングランドの丘で飼育展示

平成24年
- 8月 淡路人形浄瑠璃の常設館「淡路人形座」がオープン

平成25年
- 4月 吉備国際大学地域創生農学部開設

平成26年
- 12月 兵庫県農漁業就業者フェアin神戸」開催
- 3月 南あわじ市の農業産出額が近畿地方の市町村別で第1位に

平成27年
- 3月 市役所新庁舎が竣工
- 3月 あわじ島まるごと直売所「美菜恋来屋」がオープン
- 4月 市民交流センターが21地区で開設
- 4月 弥生時代の銅鐸（どうたく）（舌（ぜつ）含む）7点が発見され（松帆銅鐸）



平成28年
- 4月 「国生みの島・淡路」が日本遺産に認定

平成29年
- 3月 「新ご当地グルメ「淡路島サクラマス」」が誕生

平成30年
- 3月 女優兼大工の「棟梁（とうりょう）」さんを名誉市民に選定（7月に名誉市民称号を授与）

平成31年
- 11月 淡路人形浄瑠璃の「献上（けんじょう）服」を供納

令和2年
- 12月 うずしお世界遺産登録に向け、南あわじ市とフルウェー・ポーリグ市との友好連携協定締結

令和3年
- 2月 南あわじ市の『水稲・たまねぎ・畜産の生産循環システム』が日本農業遺産に認定
- 3月 淡路ファーム・パーク・イングランドの丘のコアラ「みどり」が史上最高齢のコアラとしてギネス世界記録に認定

令和4年
- 4月 オニオンロード南あわじ市区間が開通
- 11月 「阿万の風流大踊り」を含む「風流踊」がユネスコ無形文化遺産登録

令和5年
- 3月 鳴門駐車場『うずまちテラス』がオープン
- 4月 南あわじ市斎苑「松花の郷（まつかのさと）」が完成
- 4月 南あわじ市学ぶ楽しさ支援センターオープン
- 11月 「南あわじ市子育て応援コンシェルジュ」がスタート
- 12月 「覆馬岩水仙郷」がリニューアルオープン

令和6年
- 1月 市所有ドローンを能登半島地震被災地「珠洲市」へ派遣
- 1月 淡路島3年ぶりふぐが地理的表示（GI）に登録
- 7月 「都美人（とみびと）大臣」がオオサンショウサケに選出
- 9月 本庄川水門と防潮堤が完成
- 11月 福良港に防波堤・防潮堤が完成



阿万港津波防災インフラ完成式典



能登半島地震被災地へ派遣されるトイレカー



鳴門駐車場「うずまちテラス」



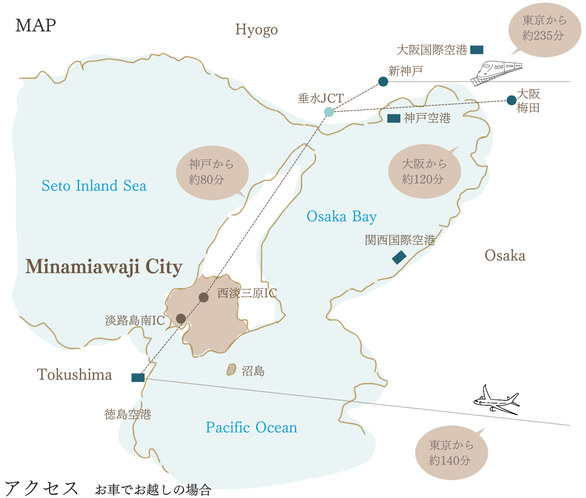
あわじ島まるごと直売所「美菜恋来屋」



南あわじ市役所新庁舎

アクセス

MAP



アクセス　お車でお越しの場合

本州から

- 大阪から 西淡三原ICまで約100分
- 神戸から 西淡三原ICまで約65分

◇垂水JCT（神戸淡路鳴門自動車道）経由→明石海峡大橋→西淡三原IC出口または淡路島南IC出口から各地へ

四国から

- 徳島空港から 西淡三原ICまで約40分

◇神戸淡路鳴門自動車道→大鳴門橋→淡路島南IC出口または西淡三原IC出口から各地へ

南あわじ市市勢要覧　発行：令和７年（2025）4月

発行元：南あわじ市役所
〒656-0492 兵庫県南あわじ市市善光寺22番地1

℡0799-43-5001(代)
https://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/



2025年4月1日刊行

南あわじ市

市勢要覧

子育ての喜びが見えるまち

ホームページ　LINE　Instagram　Facebook　X　YouTube

2025 南あわじ市 市制 20 周年

まちの姿



兵庫県南あわじ市

南あわじ市は、淡路島の南部に位置し、近畿地方でトップの農業産出額を誇り、淡路島３年とらふぐやサクラマスなどのブランド商品をはじめとしたグルメの宝庫として、一次産業を活かした観光振興に力を入れています。市内には年間約180万人もの観光客が訪れ、神戸から約１時間、東京からは飛行機で約２時間半という好アクセスで関西の人気観光地として親しまれています。



面積 229.01 ㎢　令和７年全国都道府県市区町村別面積調査

人口 44,137 人　令和２年国勢調査

世帯数 17,047 世帯　令和２年国勢調査

観光 消費額 383.55 億円　兵庫県令和５年度観光GDP特系列データ

農業 産出額 212.9 億円　令和５年市町村別農業産出額（推計）

漁業 漁獲高 25.31 億円　令和５年度あわじ市漁獲高調査（市独自調査）

南あわじ市市民憲章

南あわじ市は、もとの三原郡域を引きつぎ、野の幸、山の幸、海の幸に恵まれています。また、国生み神話に彩られた歴史をもち、実り高い伝統文化がはぐくまれてきました。わたくしたち市民は、花と緑と青い海、きれいな空気を大切にし、夢と希望の実現に向かって努めることを誓い、この憲章を定めます。

- 人と郷土を愛し、未来を見つめて力強く生きる若い世代を育てます
- 周りの人を思いやり、お互いを認め合って、共に生きてゆく豊かさをめざします
- 恵まれた豊かな自然を生かし、美しい景観や環境をまもります
- 歴史遺産や伝統文化を大切にし、誇りをもって次の世代に伝えていきます
- 仕事に夢と情熱をもち、創意工夫して産業の新しい発展につとめます

南あわじ市章

淡路島の「A」と、それを取り囲む輪は、「食づくり・ひとづくり・まちづくり」を意味するふれあい共生をイメージし、「豊かな自然の恵みを生かして希望・躍進に満ちたまち」が表現されています。

市の花木

市の花



日本水仙

市の木



黒松

ここがすごい！南あわじ市

南あわじ市は、先人たちが築き上げた生活の基盤を大切にしながら、さらに磨きをかけ、地域社会の持続的な発展を目指しています。それら取り組みにより、安定した生活基盤を築き、持続可能なまちづくりを実現します。

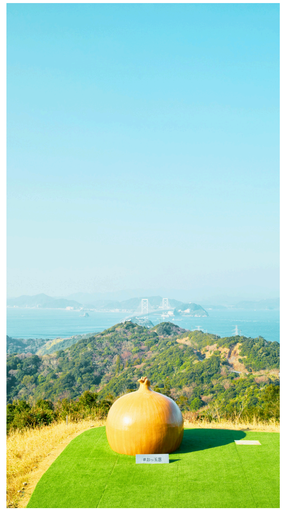
農業産出額　令和５年　市町村別農業産出額（推計）　10年連続　兵庫県下 No.1　農業産出額 212.9億円

女性就業率　令和２年　国勢調査　兵庫県下 No.1　女性就業率 55.7%

高齢者就業率　令和２年　国勢調査　兵庫県下 No.1　65歳以上就業率 40.6%

合計特殊出生率　令和２年　兵庫県市区町別合計特殊出生率　兵庫県下 No.2　合計特殊出生率 1.70%

まちの魅力



淡路島・南あわじ市ブランド

兵庫県最南端のまち『南あわじ市』

淡路島の南端に位置する南あわじ市は、豊かな自然と恵まれた気候が特徴の活気あふれるまちです。地元の特産品としては、淡路島たまねぎや淡路ビーフ、淡路島３年とらふぐや淡路島サクラマス、淡路島牛乳、そして淡路島手延べそうめんなどが知られています。
また、神戸から車で約１時間、大阪から車で約２時間というアクセスの良さから、関西で人気のリゾート地となっており、毎年多くの観光客が訪れています。

日本の夕陽百選『慶野松原の夕陽』



《観　光》　×　**《グルメ》**　×　**《温　泉》**



瀬戸内海国立公園をはじめとした美しい自然景観が魅力で、四季折々の自然の美しさを楽しむことができます。



淡路島はかつて「御食国(みけつくに)」と呼ばれ、食材の宝庫として朝廷に重宝されていました。現在も、地元の新鮮な食材を使った贅沢なランチでは味わいを楽しむことができます。



南あわじ市には６つの源泉があり、南あわじ温泉郷と呼ばれています。これらの温泉は、それぞれ異なる泉質や効能を持ち、訪れる人々に多彩な温泉体験を提供しています。



世界遺産登録を目指す『鳴門海峡のうずしお』

鳴門海峡の潮流はイタリアのメッシーナ海峡、ノルウェーのサルトストラウメン海峡と並んで「世界三大潮流」の一つといわれています。直径20～30mにも達する渦潮の大きさは世界一といわれています。うず潮の世界遺産登録を目指して、淡路島の３市（淡路市・洲本市・南あわじ市）、兵庫県、徳島県、鳴門市、民間団体が連携し、様々な取り組みが行われています。



主な観光施設

道の駅うずしお



道の駅福良



うずの丘大鳴門橋記念館



淡路ファームパーク
イングランドの丘



産直市場 美菜恋来屋



灘黒岩水仙郷



広田梅林ふれあい公園



若人の広場公園



淡路人形座



おのころ島神社



淡路島たまねぎ



南あわじ市の野菜を代表するたまねぎは明治時代から栽培され、100年を超える歴史を誇り、柔らかく甘いおいしさは全国的に有名です。平成22年には「淡路島たまねぎ」として地域団体商標を取得しました。

淡路島３年とらふぐ



鳴門海峡の目の前にある福良湾で３年間じっくりと養殖され、身も白子も大きなふぐです。厚いい膜の中で育ったみはプリプリとした食感と豊かな風味が特徴です。

淡路島サクラマス



南あわじ市の福良湾は、鳴門海峡の影響で潮流があり、春先でも水温が低いことから、育てることが難しいと言われるサクラマスを育てる絶好の環境です。大きく育った上質のサクラマスは、2017年から淡路島の春の新ご当地グルメとなりました。

淡路ビーフ



全国のブランド牛のルーツと言われる但馬牛の中でも、淡路島内で生まれるなどの基準を満たしたものだけが淡路ビーフと称されます。脂織維が細かく柔らかく、上品な甘みが特徴です。

淡路島牛乳



県内の約３割を超える酪農家数を南あわじ市が占めており、淡路島では牛乳以外にも、チーズやプリン、ヨーグルトなど豊富な乳製品が揃っています。

鱧



淡路島近海で獲れるハモは、骨も皮も柔らかく、身には淡泊な中にも甘みがあります。松茸と合わせた土風炉には有名ですが、淡路島ではさっと湯引きや煮おろう「はもすき」は地元ならではの「出会いもん」です。

鯛



鳴門海峡の急流にもまれて育った鯛は、身が分厚くよく締まって食べ応えがあります。鯛本来の上品で淡泊な味わいを活かすお造りや煮付けのほか、古くから伝わる調理法として、那智黒石を敷き詰めた宝泉鍋で蒸し焼きにした「宝楽焼」などが有名です。

淡路島手延べそうめん



素麺の機械化を受け入れず、全国的に珍しい古式伝統の「手延べ」を守り続けることで、素麺本来の味、コシ、のどごしを、今でも実現しています。

淡路瓦



400年の歴史を刻んだ伝統工芸の地場産業の淡路瓦は、そのうみな組み合わせにより、あらゆる建築物、建築様式に、飽きることのない詩情と普遍美を表現し、都市の街並みや田園風景にとっけうとしての調和と美保い情緒を生み出します。

まちの将来像

『子育ての喜びが見えるまち』の実現を目指して

南あわじ市総合計画

南あわじ市は平成２９年６月に、今後の１０年間を見通したまちづくりを総合的かつ計画的に進めるため、「第２次南あわじ市総合計画」を策定し、その実現に向け取り組みを進めています。
政策の柱である「五つの行動」は、

①超高齢社会克服のモデルとなるまちづくり
②子育て環境の向上と教育の充実
③地域の資源を活かした地元産業の活性化
④安全・安心のまちづくり
⑤対話と行動の行政の実現によるまちづくり

であり、
それぞれが補完し合いながら
「子育ての喜びが見えるまち」を実現させようとするものです。
本計画の着実な実施により、
次世代が自信をもって「ふるさと」と言える、南あわじ市を創っていきます。

ふるさと南あわじ市に
何を残せるのか。
私たち一人ひとりの行動が
未来を創ります。



南あわじ市五つの行動

南あわじ市は、恵まれた一次産業、豊かな自然、歴史、文化資源、そして、何よりも、勤勉で意識の高い人的資源、地域コミュニティ力など、共生型地域社会と自立分散型の社会構造を担う地方のモデルとなるに十分な資質と成長力を持っています。その可能性を最大限に発揮できるよう、市民の皆さまを主役にし、人の魅力が人を惹きつける地域の姿を描いています。

1 超高齢社会克服のモデルとなるまちづくり

支えられる側から支える側へ。社会を全員で支える仕組みづくりを進めています。

年齢を重ねてもいつまでも社会に貢献し、活躍し続けられるまちを実現する

高齢者等元気活躍推進事業などを展開し、人とのつながりを持ちながら活躍できる地域づくりを進めています。



2 子育て環境の向上と教育の充実

育児と教育の両面から子育てをサポートする取り組みを進めています。

まち全体で子育てを応援。子育てと仕事が両立でき、安心して子育てできるまちを実現する

行政、企業、市民が一体となり、子育てをしやすい環境づくりを進めています。



3 地域資源を活かした地元産業の活性化

地域の特色を活かした地域活性化に取り組んでいます。

観光と一次産業の融合により相互の付加価値を高め、地域全体の発展を目指す

生産から価値創造まで、地域の魅力をさらに磨き上げ、新たな価値の創造を進めています。



4 安全・安心のまちづくり

防災・減災の取り組み、防犯対策など、市民が安心して生活できるよう取り組みを進めています。

災害や犯罪から市民を守り、安心して暮らしていけるまちを実現する

地域と行政が連携し、防災訓練などの取り組みを通じて防災力を高めています。



5 対話と行動の行政の実現によるまちづくり

多くの場面において市民との対話の場を設け、課題解決に取り組んでいます。

市民と行政が対話を通じて共通のビジョンを描き、協働でまちづくりを進める

多様な課題を抱える地域が行政とパートナーとなり、地域の課題の解決に取り組んでいます。



『子育ての喜びが見えるまち』の実現